

第 47 回全日本高校選手権大会に関する「道具等輸送の返送遅れ状況」並びに  
8/13（日）開催予定「ボウリンピック沖縄（県場協会主催）」への影響について

県高体連ボウリング専門部委員長 小山正樹

全日本高校選手権へ参加予定だった選手へ、現地での道具返送手続きが大会終了時の 8/8（火）に終了していますが、台風 6 号の影響により物流が困難な状況にあり輸送が遅れている状況です。特に沖縄方面への物流は生活物資輸送が優先（航空便、船便とも）されているとのことで、どこの輸送業者でも沖縄行き輸送は遅延となっているようです。

稲沢グランドボウル現地にて全国小学生大会に引率中の県連の下地良信理事、石嶺可奈子理事の協力体制により（全国から約 500 個以上ものバッグが混在している中で）沖縄県選手の 20 個以上のボールバッグ等を何とか返送手続き（会場との調整、ゆうパックの調整、伝票調達と伝票記入など）をして頂いたことにとっても感謝しているところです。後日にでも関係選手のみなさんもお 2 人に感謝をして頂ければと思います。

ところで、来る 8/13（日）に県ボウリング場協会が主催の開催予定の「ボウリンピック沖縄」大会について、全日本高校選手権関連の選手のボールバッグ等の輸送が遅れているため開催に関して何らかの配慮ができないかどうかを、去る 8/7（月）に場協会事務局、場協会振興対策委員会へ相談をしてみました。以下の回答であったことを連絡しておきます。（日程変更等の調整ができないかどうか相談）

1. 台風 6 号の影響で道具輸送等の不都合を被っている高校生がいる状況のようだが、ボウリンピック沖縄大会は予定通りの日程と会場で開催する。

※日程やそれに伴う会場の変更などは難しい。特に会場は準備等もあり営業面等の不利益も考慮しないといけなくなり困難である。

2. 影響がある選手は一部のため、この大会のために日程を調整していた全体の予定（一般の部、親子の部、影響を受けていないそのほかの高校生など）を優先するしかない。

※ボール等の道具がない選手は借用等（オープン大会なので借用も可能）で対応してもらおうなど本人の判断に任せるしかない

以上のとおりの回答（調整依頼の結果）がきています。

道具輸送等で影響を受けている選手にとっては大会参加や事前の練習等への影響などが出ており、当専門部委員長としても大変残念であり心苦しいところですが、今回の自然災害の被害等にめげずに今後もボウリング競技に取り組んでいき、一歩ずつ前に進んでいくしかないと考えています。